

食料自給率が**38%**なのに
なぜ食べ物が廃棄される？

エネルギー自給率が**6%**なのに
なぜ国産エネが潰される？

2018年
12月
発行予定

あり余る食料と殆どない国産エネルギーで生きる日本人に
吉田愛一郎が渾身の力で書き下ろす警告の書

書籍

『電園復耕』

日本農業再生への提言

contents
1

あり余る国産食料

- | なぜ余る国産食料
- | 破棄される食料
- | 今のやり方では輸出は無理
- | このままでは消滅する日本の農業
- | 食料の国産は安全保障に寄与するか？
- | 耕作放棄地の増大
- | WHOの精神

contents
2

一割しかない
国産エネルギー

- | 化石燃料に頼る日本のエネルギー
- | 原発は経済的か？
- | 原発は国産エネルギーか？
- | エネルギーの輸入は危ない
- | 日本はパリ協定を破棄するのか？
- | 再エネの優等生ソーラー発電
- | 潰されても復活するソーラー発電

contents
3

電園復耕

- | 日本の農地制度の歴史
- | 農地法とは
- | 農業委員会とは
- | 耕作放棄地とは
- | 営農型太陽光発電
- | 農地に人が集まる



著者：吉田 愛一郎

太陽光発電の企画・開発を行うGreenT会長。現在は早稲田大学大学院環境エネルギー科に通い研究を行う。東アフリカでは野生動物の保護活動を、ケニア、ナイロビ、タゴレッティ地区では孤児院(グリニッシュハウス)を建設。日中の会社をクライアントにコンサルタントとして、自然エネルギーの研究も行う。
<https://greent-gr.com>



GreenTが山梨県北杜市で管理する太陽光発電パネル(手前)と温室農園(奥)

お問い合わせ: info@alterna.co.jp